

愛・平和・夢とともに生きたい

●ロバート・イエリンさん(アメリカ)●

自分を大切にすればまわりも大切にできる

●お国の事情

【結婚】
大学の友人、職場の人の紹介などで知り合うことが多い。

【家庭生活】

家計はだいたい男性が握っている。男性は「家の王様(King of house)」と思っている人が多い。育児では日本の父親よりは子どもと接する機会が多い。家族と仕事はきっちり分けていく。

【老後】

フロリダなど暖かいところに老人ホームがある。

【労働】

9時から17時まで。特別プロジェクトの員になったりすると残業はある。都会では残業が多いが、田舎では少ない。

●日本の社会と人について

アメリカに居るときの日本の情報

はないかを感じる。

日本人は働きすぎている。もっと自分の人生を楽しんだほうがいい。

家族とふれあう時間がとれず、かわいそう。子どもを抱きしめたり、言葉交わしたりすることが少ないのはさみしい。自分の子どもが小さいときにふれあうことがボーナス。ボーナスとはお金のことだけではない。

特別なことでなくても、散歩などを一緒にするだけでもいいのに。親が感情を出すのは「怒り」だけだと感じる。

日本は家をプライベートな空間にしか利用していない。ホームパーティーなどがなく、家族同士が交流する機会が少なくてさみしい。

●大切にしていること

私は、愛や平和、自分の夢とともに生きていきたいと思っています。そのためには、外を見るよりも、自分の心を見つめ、自分を知らなく、自分を信じて、自分の道を作ることが必要です。自分を大切にすると、まわりも自然と大切にすることができます。人間性を高めるために、プラスチックではなく、人間の心の入った美しいものを使うようにしています。



プロフィール

Robert L. Yellin

男性・40代／アメリカ・ニュージャージー州／日本人の妻と一男一女／焼き物通信販売会社代表取締役／滞日23年

<http://www.e-yakimono.net>

まさか??

ほんと!?

なるほど!!



■「時間に追われ タテマエ優先」の日本が見えてきた

日本はタテマエばかりを優先して、本音で渡り歩けない社会になっているのではないのでしょうか。本来比べるものではないはずの仕事と家庭とを天秤にかけて、本当は家庭を大事にするべきだと思いつつも、時間に追われて仕事を優先している人が多いと思います。

自分や家族を大事にしたり、伝えたいことを伝えたり、素直に行動するといったシンプルに「本音で生きる」ということが、どこの国でも共通の、生き生きとした生活のための条件なのではないかと感じました。(朝倉)

編集スタッフの取材体験コメント集

生き方のカタチ……これから 私たちは

■人間観・価値観と
男女共同参画への視点

ジェンダーというと、例えば、ランドセルや服の色、家事の分担、名簿の記載順といったことが、よく話題になりますが、その大前提として、それを語る自分が、どういう人間観・価値観をもっているのかを、明確に自覚していくことが大切ではないのか。国家・会社・仕事・金銭・物品などより重視したいのは、一人ひとりの人間の「いのち」のありかたではないのかという思いを、取材するなかですこし考え続けていました。(木村)

■男女共同参画社会への流れは

世界共通

各国で進み具合に差こそあれ、男女共同参画社会への流れが、世界共通の方向性であることがよくわかりました。キーワードは、「多様性」&「ミニマケーション」ですね。

ところで、世界各国の料理が一番揃っているのは日本とも言われております。それは、多種多様な素材や味を認め、その良い所を残しつつ日本風にアレンジしてきたからかもしれません。もしかすると、豊かな生き方のヒントや価値観の分野においても、同様なことが実現できるのではないのでしょうか。(小泉)

■地球人として何をすべきか

「郷に入れば郷に従え」と、日本社会ではよく言われてきました。同属同質のモノを求め、その枠組みの中で和や協調を大切にしてきた先人たち。しかし、情報が瞬時に世界を駆け巡り、めまぐるしく人やモノが移動する現代社会。日本社会の価値観や自文化中心のモノの考え方を相手に押し付けるだけでは、孤立は免れません。地球に暮らす一員として、私たちは何をすべきか。一人ひとりが互いの立場を尊重し合うことで、多様な国の様々な考えを持つ人々と共生できるのではないのでしょうか。(齋藤)

■もう一度

共生の知恵を見いだす時

「NO」と言えなかった頃の日本人は、自他の境界に遠慮なく進入してくるお節介への盾として「プライバシー」を掲げただけ、今はそれがかえって人と人とを遠ざけ、生きにくさにつながっている気がします。人に自分と同じ生き方を強要しない人、されない人が増えてきた今、自分ができることでの「お節介」や「世話焼き」で相手のために時間を使うことが、共生の知恵につながると思えました。(坂倉)

■思いと行動が

一致した生き方をしたい

今の日本人は仕事や世間などに縛られ、大切だと思つものを実際の行動で大切にできないことがあるのではないかと思います。そのため、ストレスなどで悩んでいるのではないのでしょうか。自分のしたいようにしてもいいと言われるながら、実際にはなかなか思い通りに行かないことが多いと思います。生き方の多様性が認められ、働き方や結婚・出産など自分の道を自由に選ぶことができる社会を、みんなが考え、作り上げていきたいなと思えました。(鈴木)

■思いやる余裕をなくした日本人

自分たちの当たり前前の生活が、実は「時」に追われているもので、問題なのは、それに気づいていないことだと感じました。追われれば、気持ちは自然と余裕をなくし、相手を理解し思いやることが、うまくできなくなっていくのではないのでしょうか。日常を振り返り、一人ひとりが生活を自分のものにする必要があるです。そこからお互いという意識に繋がっていくれば、それぞれの生き方を大事にできる社会になるのではないのでしょうか。(村田)

静岡県男女共同参画センターからのお知らせです

あざれあ図書室は あなたの情報探しのパートナーです

県内で一番の資料数!

男女共同参画社会づくりを支援するための本や雑誌、ビデオや県内外の行政資料などを、約4万点所蔵しています。男女共同参画の専門図書室として、県内で一番の資料数です。

女性問題の解決・女性の地位向上のために必要な情報や、女性・男性に関わる問題を明らかにした様々なデータや調査報告、ジェンダーに縛られずに自由な視点を持つ助けになる資料など、特色あふれるものです。

専門的な本以外にも、数多くの小説・エッセイやコミック、雑誌や絵本など、幅広い世代の方が楽しめるものも揃っています。

ビデオもあります

約600本のビデオには、100本以上の名作映画や、会社や学校・グループなどの勉強会や研修会でご利用できる男女共同参画の啓発ビデオが揃っています。
(カウンターで分類ごと一覧になったビデオリストを配布中です)

本の借り方

本を借りるときには、貸出カードの登録が必要です。カード申込書に必要事項をご記入のうえ、ご住所を確認できるものと一緒に図書室窓口へご提出ください。その場ですぐにあなたのカードを作成します。

ホームページは情報いっぱい!

ホームページには、今月の新刊本や毎月更新する展示コーナーのリストなど、最新の情報が満載です。また、蔵書検索からあざれあ図書室の本を選び、お近くの市町立図書館を通じて借りることもできます。(【相互貸借】図参照)

静岡県
男女共同参画センター2F
あざれあ図書室ご案内

開室時間 平日 9:00~18:00
土日 9:00~17:00

休室日 第1・3・5日曜日、祝日、
年末年始、図書整理日

貸出 図書・雑誌5冊、
ビデオ2本
2週間まで

TEL 054-255-8763
FAX 054-255-8759

E-MAIL

library@azarea.pref.shizuoka.jp

HP

http://azarea.pref.shizuoka.jp/
toshu/azareatosyo.htm

相互貸借のご案内

●地元の図書館を通じて、あざれあ図書室の本を借りることができます。

●申込をした図書館の規定により、ご利用ください。



子育て パパ&ママの図書室で リフレッシュ開催中!

本を読む暇もない子育て中のお母さん・お父さんに、図書室でゆっくり自分の時間を過ごしてもらおう催しです。毎月1回、大好評開催中です。

詳しい情報はホームページをご覧ください。



あざれあから地域、学校へ あざれあといっしょに!

地域カレッジ

あざれあでは、市町が実施する男女共同参画推進施策への支援のひとつとして、地域と共催で地域密着型講座「地域カレッジ」を実施します。

県下各市町・地域

(17年度は御前崎市・函南町・川根町の3市町で実施)

- 企画立案 ●企画案をもとに事業(連続講座)を実施
- 複数の市町による広域開催も可能

あざれあ

- 事業費負担 ●企画立案・実施を協働
- ネットワークづくり支援

うちの町でこんな講座をやりたい!

↓ 協働 ↑

地元団体・地域住民

あの人の話を聞きたい



児童・生徒・保護者・教職員のための男女共同参画セミナー

ジェンダーに敏感な意識をもって男女の人権と個性を尊重する教育推進のため、児童・生徒、保護者、教職員を対象とした講座を各学校のニーズにあった形で実施します。



保育園・幼稚園・小中高等学校・盲聾養護学校

- 男女共同参画の視点を持った内容で
- 児童・生徒、保護者、教職員を対象に
 - 講演会、ワークショップなど形式は自由
 - 学年・学校単位で実施する

企画案を作成
→申し込み

あざれあ

- 企画(講師の選定など)・実施を協働
 - 講師謝礼負担 ●実施校決定
- 地域・校種・内容を考慮して、実施校を決定します。(17年度・5校実施)



DV防止出前講座

大学や専門学校と連携し、「DVは人権侵害であり、犯罪である」という認識を若い世代に広く浸透させ、DVの発生を未然に防止することを目的に実施します。17年度は3校・約350人の学生を対象に実施しました。

今後は大学、専門学校以外での実施も検討しています。

参加者の声

- 言葉は聞いたことはあったけれど、こんなに多くの方が被害を受けているということに驚いた。
- DVというと個人の問題であり他人事だと思っていましたが、DVは社会問題であり、早く解決しなければならない問題だということがわかりました。
- 将来看護師や福祉関係等の仕事に就いた時にも参考になる内容でした。

それぞれの講座のお申し込みについて

地域カレッジ

5月に行われる「市町担当者セミナー」の際に、各市町の男女共同参画担当職員を中心に詳しい案内をします。

児童・生徒・保護者・教職員のためのセミナー

3月中旬に、保育園・幼稚園・小・中・高等学校・盲聾養護学校に募集要項をお送りします。(締め切り・5月中旬予定)

DV防止出前講座

ご希望がありましたら、お問い合わせください。

お問い合わせは

TEL 054-250-8107
(事業推進スタッフまで)

Voice 読者の声

47号「生き方のカタチ」を読んで

結婚を約束した人がいます。なんとなく割り切った結婚?を相手から感じ(気のせいかもしれませんが)、寂しく思っていました。私自身、結婚を断るまでの勇気もなく…。

そんな中、「ねっとわあく」を初めて読み、3ページのFさんの話には、「あ〜、こういう見方もできるのか」と目からうろこでした。前向きに行かなきゃネ! (海さん 30代女性)

大変恥ずかしながら、「ねっとわあく」の存在を初めて知りました。男女共同参画が叫ばれて久しい、しかし浸透はしていません。是非、浸透の役目を果たす「ねっとわあく」に。期待しています。(浜松市 マーチャンさん 70代男性)

座談会の出席者の中に昔お世話になった方がいらして驚きました。そのせいか、読み進めていくうちに「フーン」「そうかなー」など心の中でつぶやき、一緒に座談会に参加している気になりました。初めて読んだ「ねっとわあく」が楽しいもので良かったです。また読みたいと思いました。(静岡市 輝りんさん 40代女性)

48号のご感想をお寄せください。

本号のハサミ込みハガキ、またはE-mail、FAXでも結構です。抽選で美術館招待券などを差し上げます。

E-mail:kouryuukaigi@ka.tnc.ne.jp

FAX 054-251-5085



post card

or



mail

or



fax

今回の取材は、新しいものとの出会い。今回の取材は本当に鱗が落ちっぱなしでした。編集とはその出会いを情報にすること。今回もみなさんに感謝です。(村田美千子)

今回取材を受けてくださった方々のように、私ももっと自分の国について理解しておかないといけないなと思いました。(鈴木麻里子)

異文化にふれると見慣れたものが新鮮に見えてきます。自分の価値観や社会のことをいろいろ考えて、脳がフル回転。これは老化防止にいいかも。(坂倉裕子)

ジェンダー学は必修と、米国の若者から聞きます。「西欧のものさしで測るのはおかしい」との批判も耳にします。男女が共に生きやすくなるためのルールと考えませんか。(齋藤典子)

20代に貧乏世界旅行を通じて得た「心の豊かさ」と、経済の豊かさは全く別物」との実感が蘇りました。眼の輝き!を大切にしたいです。(小泉孝之)

ここでの「学び」を生かすことが一番大事であり、それが編集に携わった方々への恩返しになると思っています。ありがとうございます。(朝倉一樹)

編集後記

編集スタッフ

齋藤典子(編集長)
朝倉一樹(大学生)
坂倉裕子(研修講師)
鈴木麻里子(大学生)
村田美千子(団体職員)
小泉孝之(交流会議常任委員)
木村幸男(アドバイザー)

ねっとわあく

Vol.48

監修・発行/静岡県男女共同参画センター

発行日/平成18年3月1日

住所/〒422-8063

静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

TEL/054-250-8107 FAX/054-255-9266

編集/静岡県男女共同参画センター交流会議



「ねっとわあく」は年2回発行(3月、10月)します。

県民生活センター、県内の男女共同参画センター、市町役場、公民館、公立図書館、文化会館などで配布しています。